

## 「長周期地震動に関する情報検討会 平成 24 年度報告書」の公表について

気象庁では、地震後の高層ビルにおける防災対応等に資するため、従来の震度では把握が困難な長周期地震動による高層ビルにおける揺れに関する情報のあり方や内容等について、平成 23 年度に「長周期地震動に関する情報のあり方検討会」を、平成 24 年度にはそれを引き継いだ「長周期地震動に関する情報検討会」を開催し、学識経験者等からのご意見をいただきながら検討を進めてまいりました。

今般、平成 24 年度に「長周期地震動に関する情報検討会」が行った検討結果を「長周期地震動に関する情報検討会 平成 24 年度報告書」として取りまとめ公表しましたのでお知らせします。

(※報告書の概要は別紙 1、検討経過等は別紙 2 のとおり)

「長周期地震動に関する情報検討会」は今年度も引き続き開催し、メディアや自治体等を通じ長周期地震動に関する情報を広く国民へ速報するにあたっての課題等の検討や、長周期地震動に関する予報を発表するための技術的な検討を進めてまいります。

別紙 1 「長周期地震動に関する情報検討会 平成 24 年度報告書」の概要

別紙 2 「長周期地震動に関する情報検討会」検討経過及び委員名簿

### 【本件に関する問合せ先】

気象庁地震火山部地震津波監視課(電話 03-3212-8341 内線 4559、4582)

## 「長周期地震動に関する情報検討会 平成 24 年度報告書」の概要

気象庁が、高層ビルを対象として、長周期地震動による被害の発生可能性等についてお知らせする「長周期地震動に関する情報」について、具体的な内容を以下のとおり検討した。

### 議論および検討結果

- ・高層ビル内における地震時の人の行動の困難さの程度や、家具や什器の移動・転倒などの被害の程度を 4 階級に区分して「長周期地震動階級関連解説表」を取りまとめた。情報はこの「長周期地震動階級」を用いて発表する。

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級 1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級 2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらないう歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級 3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級 4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

- ・長周期地震動階級は、気象庁震度観測点の観測データを用いて高層ビル高層階の揺れを推計するため、絶対速度応答スペクトル（減衰定数 5%）の周期 1.5 秒から周期 8 秒までの間における最大値から求める。
- ・長周期地震動に関する情報は、長周期地震動階級の他、地震波形や応答スペクトルデータ等を掲載し、利用者が自らアクセスし入手できるよう、気象庁 HP を通じた PULL 型情報として提供できる環境を整備することが必要である。
- ・的確な情報発表を行うためには、情報発表に利用可能な観測網の充実・強化を行うことが必要である。

※上記の検討結果を踏まえ、平成 25 年 3 月 28 日から気象庁 HP において長周期地震動に関する観測情報の発表を試行的に開始。

### 今後の課題

- ・ PUSH 型情報の提供実施方法の検討。
- ・ 長周期地震動階級と地震時の対応行動との整理や位置づけの検討。
- ・ 長周期地震動に関する情報の認知度の向上。

**「長周期地震動に関する情報検討会」検討経過及び委員名簿****1. 検討経過**

平成24年10月22日 検討会（第1回）  
12月12日 検討会（第2回）  
平成25年2月25日 検討会（第3回）  
3月18日 検討会（第4回）

**2. 「長周期地震動に関する情報検討会」委員名簿**

座長	福和伸夫	名古屋大学減災連携研究センター長
副座長	翠川三郎	東京工業大学大学院総合理工学研究科教授
	青井 真	(独)防災科学技術研究所 観測・予測研究領域 地震・火山防災研究ユニット 地震・火山観測データセンター長
	秋山伸一	伊藤忠テクノソリューションズ 科学システム部 原子力エンジニアリング部 部長代行
	井上勝徳	国土交通省住宅局建築指導課長
	小鹿紀英	(株)小堀鐸二研究所副所長
	谷原和徳	日本テレビ放送網 報道局マルチニュース制作部長
	寺田博幹	文部科学省研究開発局地震・防災研究課長
	中森広道	日本大学文理学部教授
	長田恭明	日本放送協会報道局災害・気象センター長
	久田嘉章	工学院大学建築学部教授
	藤山秀章	内閣府参事官（調査・企画担当）
	村上研一	東京消防庁防災部長
	山口英樹	総務省消防庁国民保護・防災部防災課長
	横田 崇	気象庁気象研究所地震火山研究部長

（事務局）気象庁地震火山部地震津波監視課

※委員の所属は平成24年度末時点のもの